

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 北越コーポレーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3865 URL <http://www.hokuetsucorp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 岸本 哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 丸山 知成 (TEL) 03-3245-4500
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	62,286	21.1	4,715	—	6,963	693.6	7,499	201.1
2021年3月期第1四半期	51,438	△28.1	△1,277	—	877	△87.2	2,490	△49.1

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 9,808百万円(530.9%) 2021年3月期第1四半期 1,554百万円(△62.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	44.65	44.60
2021年3月期第1四半期	14.83	13.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	357,223	203,936	56.9
2021年3月期	363,075	195,419	53.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 203,207百万円 2021年3月期 194,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,000	21.0	7,500	—	10,000	—	11,000	491.5	65.51
通期	255,000	14.6	15,000	781.4	20,000	105.0	17,000	19.9	101.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	188,053,114株	2021年3月期	188,053,114株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	20,067,866株	2021年3月期	20,131,789株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	167,956,529株	2021年3月期1Q	167,912,371株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年は業界全体で需要が大きく落ち込みましたが、当年は持ち直しの動きがでてきており、特に洋紙、白板紙で販売数量が増加したことにより、売上高62,286百万円（前年同四半期比21.1%増）、営業利益4,715百万円（前年同四半期は1,277百万円の営業損失）、経常利益6,963百万円（前年同四半期比693.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,499百万円（前年同四半期比201.1%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態及び経営成績に影響を及ぼしています。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて5,851百万円減少し、357,223百万円となりました。これは、主として現金及び預金が13,688百万円減少した一方で、商品及び製品が1,372百万円、原材料及び貯蔵品が4,336百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて14,369百万円減少し、153,286百万円となりました。これは、主として有利子負債が15,378百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて8,517百万円増加し、203,936百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が6,200百万円、為替換算調整勘定が2,938百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,846	16,157
受取手形及び売掛金	49,653	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	50,347
電子記録債権	5,701	5,833
商品及び製品	22,374	23,747
仕掛品	2,378	2,052
原材料及び貯蔵品	22,712	27,049
その他	7,355	7,561
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	140,020	132,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	85,263	84,106
減価償却累計額	△53,994	△53,094
建物及び構築物（純額）	31,268	31,012
機械、運搬具及び工具器具備品	438,380	438,459
減価償却累計額	△374,249	△373,912
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	64,130	64,546
その他（純額）	31,049	31,603
有形固定資産合計	126,448	127,162
無形固定資産		
投資その他の資産	2,668	2,581
投資有価証券	86,829	87,740
その他	9,528	9,408
貸倒引当金	△2,420	△2,414
投資その他の資産合計	93,937	94,734
固定資産合計	223,055	224,478
資産合計	363,075	357,223

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,571	18,421
電子記録債務	5,898	6,990
短期借入金	22,928	20,536
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	720	767
引当金	3,375	2,084
その他	14,522	14,819
流動負債合計	85,016	73,618
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	59,142	56,043
引当金	1,096	1,169
退職給付に係る負債	6,940	6,238
資産除去債務	2,256	2,250
その他	3,202	3,965
固定負債合計	82,639	79,667
負債合計	167,656	153,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,020	42,020
資本剰余金	45,341	45,344
利益剰余金	112,891	119,091
自己株式	△9,702	△9,671
株主資本合計	190,550	196,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,343	3,663
繰延ヘッジ損益	△18	1
為替換算調整勘定	△949	1,989
退職給付に係る調整累計額	775	766
その他の包括利益累計額合計	4,151	6,420
新株予約権	102	75
非支配株主持分	614	654
純資産合計	195,419	203,936
負債純資産合計	363,075	357,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	51,438	62,286
売上原価	43,757	47,743
売上総利益	7,680	14,542
販売費及び一般管理費	8,957	9,826
営業利益又は営業損失(△)	△1,277	4,715
営業外収益		
受取利息	12	5
受取配当金	471	404
持分法による投資利益	1,462	1,630
その他	695	603
営業外収益合計	2,642	2,643
営業外費用		
支払利息	113	110
為替差損	—	140
休業手当	151	1
その他	222	142
営業外費用合計	487	394
経常利益	877	6,963
特別利益		
固定資産売却益	5	2,805
投資有価証券売却益	100	0
受取保険金	12	31
退職給付債務戻入益	—	77
特別利益合計	118	2,914
特別損失		
固定資産除売却損	343	255
固定資産圧縮損	12	31
投資有価証券売却損	3	—
投資有価証券評価損	1,111	—
特別損失合計	1,471	286
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△474	9,591
法人税、住民税及び事業税	320	1,111
法人税等調整額	△3,303	967
法人税等合計	△2,983	2,078
四半期純利益	2,508	7,512
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,490	7,499

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	2,508	7,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,164	△446
繰延ヘッジ損益	3	22
為替換算調整勘定	△2,443	2,965
退職給付に係る調整額	49	0
持分法適用会社に対する持分相当額	271	△246
その他の包括利益合計	△953	2,295
四半期包括利益	1,554	9,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,548	9,769
非支配株主に係る四半期包括利益	5	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)**(収益認識に関する会計基準等の適用)**

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、取引に係る収益の一部について、従来は、総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財の提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、代理人取引であると判断した取引については、純額で収益を認識する方法に変更しております。

また、顧客に支払われる対価の一部について、従来は、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結結果計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙パルプ 事業	パッケー ジング・ 紙加工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	45,387	4,068	49,455	1,982	51,438	—	51,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	619	16	636	6,979	7,615	△7,615	—
計	46,007	4,085	50,092	8,962	59,054	△7,615	51,438
セグメント利益又は損失(△)	△1,615	16	△1,598	168	△1,429	152	△1,277

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、古紙卸業、建設業、運送・倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額152百万円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙パルプ 事業	パッケー ジング・ 紙加工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	56,851	3,562	60,413	1,872	62,286	—	62,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	652	9	662	5,335	5,998	△5,998	—
計	57,503	3,572	61,076	7,208	68,284	△5,998	62,286
セグメント利益	4,350	6	4,357	214	4,571	143	4,715

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、古紙卸業、建設業、運送・倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額143百万円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。